



加茂川を元気に泳ぐコイノボリ

主な内容

- 第48回 雪椿まつり開催…………… 27
- 登山シーズンスタート～栗ヶ岳山開き 8
- 中学生武道演武「見学会」を実施…… 9
- 加茂地区就職ガイダンス 2015 …… 10
- カメラスケッチ・大会結果…………… 11
- 加茂の風土記 …… 12

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院をもり立てましょう
 「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願いたします

第48回 雪椿まつり



左からミス雪椿・中野美紀さん、ミス雪椿クイーン・仁瓶めいさん、ミス雪椿・入山美希さん

第48回雪椿まつりが、サクラとユキツバキが満開の加茂山公園で開催されました。

加茂市の友好都市である大島町におかれましては、台風による大災害から間もない時期にもかかわらず、例年と同じ規模の三十九人の皆様がおいでになり、本当にありがたいこととございました。

大園遊会は市民体育館で行われ、ミス雪椿公開審査、歌謡ショー、大島町との交歓会が行われ、おおぜいの皆さんから春のひとときを楽しんでいただきました

大園遊会

市民体育館での開催となりましたが、午後からは気温も上がり、加茂山公園や市中パレードが通る大通りに、おおぜいの皆さんでにぎわいました。

大園遊会が始まる前に、友好都市・大島町の昨年十月の台風二十六号により被害に遭われた方々を悼み、黙とうがささげられました。

ミス雪椿公開審査では、雪椿民踊保存会の踊りに案内されて入場した十名の候補の中から、ミス雪椿クイーンに仁瓶めいさん、ミス雪椿に中野美紀さん、入山美希さんが選ばれ



雪椿民踊保存会の踊りで始まったミス雪椿公開審査

ました。ミス雪椿の三人には一年間加茂市の観光PRやイベント・セレモニーで活躍していただきます。また、昨年の大園遊会から活躍していただいたミス雪椿の対馬愛子さん、岩澤春菜さん、渡邊かおるさんへ子どもたちから花束と会場から大きな拍手が贈られました。

アトラクションには、加茂松坂協会の「ひでこ節」、星の会の「出雲崎おけさ」、ザ・松坂による「加茂小唄」、秋扇会の「男橋」の唄と踊りが披露されました。

そして、歌手の杜（もり）このみ



中川裕司JR東日本新潟支社
営業部販売課長(支社長代理)



田村定文産業労働観光部
観光局長(新潟県知事代理)



菊田真紀子衆議院議員

「大島あんこ節」「椿咲く頃またき

た。そしてミス大島の早川夏美さんが紹介され、大島町婦人会の「大島節」

さんをお迎えして歌謡ショーが始まり、舞台を降りて歌う杜このみさん贈られる大きな拍手で楽しいステージになりました。大島町との交歓会では、川島理史(かわしままさふみ)町長と小池清彦市長が記念品を交換し、握手が交わされました。

川島町長は「昨年の台風災害では、加茂市の皆さんからたくさんの方の支援をいただいたことを忘れません。まだまだ復興の途中ですが一層交流を広げていきますので、よろしくお願

いします」とあいさつされました。小池市長は、「大災害の後でございますのに、川島町長さん、中村議長さんをはじめ、例年と同じ規模の三十九人もの皆様がおいでくださいます。まして本当に感謝しております。特に今回は、災害のあった元町地区の婦人会の皆様が、大勢でおいでになりました。まして感謝の言葉もございません。

お亡くなりになられました方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、一日も早い御復興をお祈りしてやみません」とあいさつしました。



握手を交わす小池清彦加茂市長と川島理史大島町長



ミス大島の早川夏美さん



勇壮な演奏を披露する御神火太鼓の皆さん



大島町婦人会による踊り



大園遊会会場となった市民体育館



ゲスト歌手の杜このみさんのショー

てね」の三曲が披露されました。続いて勇壮な御神火太鼓が体育館いっぱいに響き渡りました。

市中パレード

新しいミス雪椿クイーンとミス雪椿を中心に、JR加茂駅前からパレードがスタートしました。ミス雪椿クイーンの仁瓶めいさんとミス大島の早川夏美さん、ミス雪椿の中野美紀さんと入山美希さんが、それぞれ新発田駐屯地・第三十普通科連隊のオープンカーに乗って、沿道からの声に笑顔で応えていました。パレードは昭和橋まで、県警音楽隊とカラーガード、ボーイスカウト、ガールスカウト、交通安全協会、交通安全母の会、プラス・ワン、大島町の皆さんと御神火太鼓、自衛隊音楽隊、少年消防クラブ、本量時保育園、須田保育園の皆さんが参加しました。

雪椿マラソン

市中パレード出発前、午後二時三十分にJR加茂駅前をスタート。今年からゴール地点が勤労者体育センター前になり、各部門の距離が約四百〜五百mほど短くなりました。小学校三年生二・六kmコースから一般高校男子九・五kmの十部門に百四十



加茂松坂協会による「ひでこ節」



ザ・松坂による「加茂小唄」



秋扇会による「男橋」



星の会による「出雲崎おけさ」



ボーイスカウトとガールスカウトが交通安全をPR



県警音楽隊とカラーガード

三名が出場し、全員が完走しました。
13日雪椿杯バレーボール大会

三十回目を迎えるこの大会に県内七市町から十五チームが出場し、開会式では全チームに雪椿の苗木と加茂の特産品が贈られました。優勝は四日町クラブ（三条市）、準優勝は白鳩（新潟市）でした。

14日トレジャーハンティング

野外ステージを中心に加茂山公園内に九つのゲームが用意され、子供たちが挑戦していきました。よく晴れたこの日、子供たちといっしょに訪れた大人の合わせて約千人が、ゲームとカモレンジャーショーを楽しみました。

市民茶会

青海神社拝殿と貴賓室の二席がひらかれました。前日までは雨の予報でしたが、朝から雲が時々かかるくらいは晴天で、和装でおいでになる方々も大勢いました。ミス雪椿クイーンの仁瓶めいさん、ミス雪椿の中間野美紀さん、入山美希さんの三人も、市内外からのお客様といっしょにお茶をいただきながら加茂市のPRをしていただきました。



大島町の皆さんも参加して市民交流を広げました



交通安全母の会の皆さんも親子でパレード



プラスワンの演奏



交通安全協会も風船で交通事故防止をPR



ミス雪椿の入山さん（左）と中野さん（右）



ミス雪椿クイーンの仁瓶さんとミス大島の早川さん



安田憲喜市議会議長と中村佳一町議会議長



川島理史町長と小池清彦市長



本量寺保育園の園児による防火パレード



自衛隊音楽隊のパレード演奏



須田保育園園児によるパレード演奏



少年消防クラブ（BFC）鼓笛隊

市民茶会 (29日)



青海神社拝殿の茶席

雪椿マラソン (20日)



パレードスタート前に143名が出場・完走



青海神社貴賓席での茶席

トレジャーハンティング (13日)



野外ステージでのカモレンジャー・ショー

雪椿杯バレーボール大会 (13日)



雪椿杯バレーボール大会に15チームが参加



いろいろなゲームに挑戦する子供たち



結果は、四日町クラブ (三条市) の初優勝

粟ヶ岳 山開き

水源地中央登山口から今シーズンスタート



天候に恵まれ

安全祈願に二百人参加

粟ヶ岳の登山シーズン幕開けを告げる山開きが四月二十九日に行われました。水源地第二ダムの中央登山道入口では安全祈願が行われ、北澤忠男加茂山岳会会長、小川政仁加茂警察署長、小池清彦加茂市長のテープカット後、集まった約二百五十人が千二百九十三mの山頂目指して出発しました。

登山前に小川署長が「今日は、三十数年ぶりに粟ヶ岳に登ります。安全に自然と眺望を楽しみましょう」とあいさつされました。そし



小池市長、北澤山岳会会長、小川署長がテープカット



て小池加茂市長は「粟ヶ岳より高い山はたくさんありますが、粟ヶ岳ほど美しい山は少ないと思います。これからも山岳会への支援や登山道の整備などを進めていきます。特に今年は、やぶで通れなくなっている宝蔵山方面から水源地へ下りてくる道を整備します。」とあいさつしました。

この日、粟ヶ岳登山に来られた人は約二百人ということで、七合目のヒュッテでは加茂山岳会から登頂証明書が交付されました。粟ヶ岳登山シーズンは、十一月三日の山閉いまで続きますが、体調や装備、天候に十分注意して楽しんでください。

中学校武道演武「見学会」

市内中学校全生徒が各種目を見学

四月三十日、文化会館で「武道演武見学会」が開催されました。加茂市では平成二十二年から中学校保健体育での武道科目を実施して今年で五年目となります。中学校の保健体育では、平成二十四年度から武道が必修科目となっていますが、加茂市は授業中の事故やけがを防ぐため、各種目の指導者から授業の講師をとめていただいています。

選択科目は、柔道、合気道、剣

道、空手道、柳生新陰流剣道、なぎなたの六種目で、見学会では指導される先生から模範演技を披露していただきました。道着や用具などは市が用意してあるので、生徒は見学会で見た内容から、自分に合った種目を選択できるようになっています。

授業は十月から下条体育センターで、曜日ごとに市内中学校の各学年が集まって行われます。



剣道



柔道



柳生新陰流剣道



空手道



なぎなた



合気道

地元企業の情報提供と就職活動の機会を



四月二十四日（木）、産業センターで大学、短大、専門学校卒業生を対象に来年度採用予定の企業説明会を開催いたしました。昨年に続く二回目の開催には、市内外から二十一社の参加があり、来年の卒業を前にした学生の皆さんなどには大切な就職活動の機会となりました。

開催にあたり小池清彦加茂市長は「加茂市が主催といっても、市内の学生のみを対象としているのではないので、大勢の参加をお待ちしていました。各企業におかれましては、できるだけ大勢採用してくださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。」とあいさつ



しました。ハローワーク三条の奈良橋所長からは「ゆるやかな景気回復といわれている中、会場にいる皆さんにとって、いい機会になってほしい。」と話されました。

各企業のブースでは、スクリーンに映し出された資料や製品のサンプルを前に、業務内容、採用職種、福利厚生などが説明され、学生たちからは必要な資格などが質問されていました。

七月には新規高校卒業予定者を対象とした、企業説明会を開催する予定です。



加茂山一斉清掃（4月6日）

雪椿まつりを前に、加茂山一斉清掃が行われました。今年、夜半の雨も早朝にはあがり、約二千人の皆さんから参加していただきました。空き缶などのごみは少なく、ほとんどが落ち葉や雪で折れた枝などが多かったようです。六時半から一時間ほどで、加茂山公園はきれいになり、たくさんの人を迎える準備ができました。



スポーツ少年団合同入団式（4月12日）

加茂市スポーツ少年団は、十二の競技で活動しています。野球とバレーボールでは合わせて七チームがあり、各競技のチームは県内外で行われる大会で活躍しています。今年の入団式が勤労者体育センターであり、子供たちの元気な入場行進と自分の運動能力を確認するためスポーツテストが行われました。

第30回雪椿杯争奪加茂市近郷家庭婦人バレーボール大会

期日 四月十三日

会場 勤労者体育センター

参加 県内十五チーム

優勝 四日町クラブ(三条市)

準優勝 白鳩(新潟市)

三位 新潟ひかりクラブ(新潟市)

豊浦J.V(新発田市)

〔個人賞〕

最優秀賞 泉 美幸(四日町クラブ)

優秀賞 平井敏江(白鳩)

技能賞 梅田晴美(四日町クラブ)

石川美恵子(白鳩)

敢闘賞 植木紀巳代(新潟ひかり)

齊藤良子(豊浦J.V)

細野美和子(白根クラブ)

田中由多加 (見附レディース)

第35回雪椿マラソン

期日 四月二十日

出場・完走選手 百四十三人

※ゴールが勤労者体育センター前になり、各種目の距離が変わりました。

2.6kmコース・駅前〜駒岡橋〜ゴール

▼小学校男子三・四年生の部①安達 蒼太(三条市栄中央小)②桑原陽太(三条市風南小)③小笠原大耀(新潟市南万代小)▼小学校女子三・四年生の部①坂井椿・最優秀選手賞

(加茂西小)②横井美沙希(加茂Jr陸上・石川小)③高橋ひかる(加茂Jr陸上・石川小)▼小学校男子五・六年生の部①落合匠(五泉市五泉小)②星晴文(新潟市新飯田小)③熊倉圭寿(五泉市五泉小)▼小学校女子五・六年生の部①小俣咲綾(五泉市新通小)②板谷実咲(五泉市五泉小)③木戸愛梨(三条市月岡小)

▼中学校女子の部①五十嵐美紀(田上中)②齋藤なずな(田上中)③佐藤菜々子(田上中)▼一般・高校女子の部①渡辺あけみ(五泉楽走会)②波塚美奈子③五十嵐真喜子(第三平成園)

4.5kmコース・駅前〜小貫橋〜ゴール

▼中学校男子の部①小柳泰治・最優秀選手賞(加茂Jr陸上・七谷中)②滝沢類(田上中)③樋口千樹(五泉市五泉中)▼一般・高校男子の部①吉田翔(T&M)②酒井貴音(加茂農林高)③斎藤博俊(アルビレックスRC)▼壮年の部①米木勇(新発田自衛隊)②椿正幸(五泉楽走会)③梅田誠

9.5kmコース・駅前〜七谷大橋〜ゴール

▼一般・高校男子の部①齊藤健也②酒井敦(加茂地域消防署)③石附秀一(FRC石附陸上部)

11

宗門改帳と相檀家

あいだんか

江戸時代の村々には「宗門改帳（しゅうもんあらためちよう）」

「宗旨改帳（しゅうしあらためちよう）」という檀那寺（だんなでら）が家ごとに家族一人ひとりの

宗派を確認し印判を押した帳面があった。全国的に統一様式になっ

たのは、寛文十一年（一六七二）頃で、キリシタンでないことを証

明するものであったが、次第に村の戸口（ここう）調査の傾向も帯

びるようになった。

加茂地域には初期の改帳は残存していないが、最も古く残存する

のは新発田領の加茂町、鶴森村の宝永七年（一七一〇）である。そ

のうち「賀茂町宗旨改帳」をみると、

二百一十一軒が記載されたうち、九十

四軒が一家で一寺の檀那寺であつた

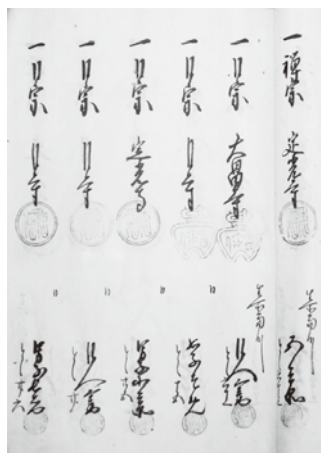
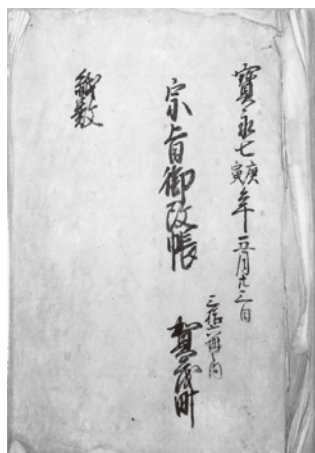
が、半数以上の百十七軒が一家のな

かで複数の檀那寺を持っていた。こ

れを相檀家（あいだんか）とか複檀家（ふくだんか）といった。

この複数の檀那寺を持つ一例を、当時組頭を勤めていた五兵衛家で見

る。下男・下女を除いた家族数は八人で、当主五兵衛夫婦は夫が



宝永七年（一七一〇）加茂町宗旨改帳（写真右）五兵衛の家族部分（五兵衛が定光寺、妻が大昌寺 写真左）

定光寺、妻は大昌寺、この夫婦の女子は大昌寺、男子二人の子供にはそれぞれ妻があり、兄夫婦は男児とも定光寺で、弟夫婦も定光寺であった。五兵衛家は概ね男子系の寺は定光寺で、妻（女）系は大昌寺となるようである。しかし、

ほかの相檀家の例には一家の中に三か寺、四か寺を持つ家もあった。

こうした現象は嫁入り・婿入り時に実家の檀那寺を離檀しないで引き継いできた結果とみられる。同年の鶴森村の場合も同じく相檀家があった。

相檀家の形態は寺と檀家、あるいは寺同志の争いになりかねないことから、新発田藩では寛政十二年（一八〇〇）や文政十一年（一八二八）、幕府領では文政十年などに、一家一寺の奨励のお触れを再三発布している。当時、幕府領であつた加茂町には文政十一年二月に、お触れに従い女方の寺から離檀して男方の寺の檀家にするこ

とを届けた証文が残る。こうした離檀証文は加茂町に幾つかみられるが、村々では強制するまでには至らず近代以降に引き継がれた。

（関 正平）

あいちとつ

社会福祉費寄付金

▼涌井源治郎さん（小橋一）から 二十万円

ふるさと寄付金

▼小林宏子さん（東京都）から 十万円

人口のうごき

4月1日現在
世帯 10,277（- 7）
人口 29,467（-126）
男 14,237（- 57）
女 15,230（- 69）
（ ）内は前月比
（3月異動分）
出生 10（男 4 女 6）
死亡 39（男20 女19）
転出 183 転入 86